

## 2008年日本応用藻類学研究会総会議事要録

日 時 2008年6月21日午後5時10分から5時50分まで  
場 所 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学楽水会館大会議室  
出席者 本人出席 43名 委任状出席 27名 計70名  
議事概要

### 1 開 会

### 2 能登谷会長挨拶

本研究会は発足以来8年目、春季シンポジウムは7回目を迎えた。昨年までは日本海藻協会内の研究会として活動を行ってきたが、日本海藻協会からの分離に伴い、本年からは独立した学術組織として歩み出すこととなった。これを受け、学術雑誌「Algal Resources」を発刊するとともに、本春季シンポジウムもテーマ講演とパネルディスカッションに加え、口頭およびポスター発表を行なうなど、学会化へ向けて発展を図った。本研究会会員およびこの活動にご賛同いただける方々には、より一層のご支援、ご協力を賜りたい。また、本総会では、日本海藻協会からの独立に伴う規約改正を、本総会で会員に諮りたい。

### 3 議長選出

松岡元徳島県水産試験場長を議長に選出した。

### 4 議 題

#### (1) 第1号議案

庶務幹事が資料に基づき2007年事業を報告し、出席会員によって承認された。

#### (2) 第2号議案

会計幹事が資料に基づき2007年会計を報告し、出席会員によって承認された。

#### (3) 第3号議案

庶務幹事が資料に基づき2008年事業計画を提案し、出席会員によって承認された。

#### (4) 第4号議案

会計幹事が資料に基づき2008年予算を説明し、提案した。以下の議論を経て収入支出とも8万円ずつ減額することで、出席会員によって承認された。

Q 繰越金が2007年決算と2008年予算とで額が合わない。

A 2007年決算には、編集委員会と庶務幹事の手持ち金について個別会計として別添資料に示した。2008年予算には、編集委員会と庶務幹事手持ち金の残金を合わせて繰越額としたため、そのぶん繰り越しに差額が生じた。

Q 収入に記される別刷り代金8万円が、支出のどの項目で支払われるか？

A Algal Resources 誌の別刷りについては、投稿者に100部1万円の実費相当分の負担をお願いしている。会の運営に直接関わる経費ではないため、収入からは除外したい。については、収入を8万円減額し、これに伴い支出についても繰越金を8万円減額し、訂正したものを予算案としたい。

Q 予算が厳しいが継続的運営が図られるか。

A 第5号議案で説明するが、団体会員を新たに設ける予定である。将来は個人会費の値上げも考慮せざるを得ないとも考えるが、当面は会員の勧誘、拡大によって財政を安定させたい。

#### (5) 第5号議案

会長は、2007年に日本海藻協会からの分離独立にともない規約に大幅な見直しが必要となったこと、独立を機に会の目的を明確し、会員の意向を直接くみ上げられるようにすることを理由に挙げて規約改正を発議した。

また、会長は、会員数の増加（2008年6月21日現在で107名）や学術誌の発行などに伴って、日

本学術会議の定める「学会」基準を満たしたことから、会の名称を日本応用藻類学研究会から日本応用藻類学会に変更すること提案し、現行の規約から日本海藻協会に関連した項目をのぞくとともに、団体会員の規定や会長と監事の任期を設けるなどの改正案骨子を説明した。次いで、現行規約と対比させながら改正案の全文を朗読した。

規約改正案は出席会員によって承認された。

(6) その他

会長は、会計が厳しい状況にあるが年間3千円の個人会費を当面維持すること、会費を値上げせずに済むように個人会員の勧誘に努めることを説明し、会員の理解を求めた。また、新たに団体会員にAlgal Resources誌に無料で広告を掲載する特典を設けたことを説明し、団体会員の拡大について出席者の協力を依頼した。

編集委員長は、Algal Resources誌は、投稿料が無料であること、学术论文に限らず、総説や報告文についても幅広く受け付けていることを説明し、会員の積極的な投稿を呼びかけた。

庶務幹事は、総会資料については4号議案の一部を変更のうえ、近く開設するホームページに掲載する旨連絡した。

## 6 閉 会